

優勝パレード

公務員に負担強いるな

寄付やボランティア活動は、自主的と行われてはじめにそう呼べる。職場で上司から呼びかけられれば、事実上の強要や動員との受け止めが広がるものも当然ではないか。

プロ野球の阪神タイガースとオリックス・バファローズが参加して今月23日の祝日に

予定されるリーグ優勝記念パレードをめぐり、大阪府と市の対応が波紋を広げている。

関西の経済団体や大阪府、兵庫県などでつくる実行委員会は、寄付を募っている。大阪・御堂筋と神戸・三宮の2カ所を会場に、両チームが入れ替わる形での実施に5億円が必要だといふのだ。

大阪府は、府立学校長ら宛ての文書で教職員への寄付の周知を要請。「寄付額は3千円以上」「申し込みは勤務時間外に」とも記した。教育分野以外の職員にも、同様の文書を示したという。

さらに大阪府と市は、現地で来場者の誘導などを担う要員として各1500人のボランティアも募った。府は知事部局の職員を対象とし、市は部署ごとの人數の目安まで示した。あくまでボランティアで、休日勤務の手当はおろか交通費も支給しない。

府や市の職員の間では、困惑や疑念、反発など、さまざま反応が生じているようだ。職員の労働組合は異議を唱え、申し入れも行った。当然の対応だらう。

大阪府は、寄付に関する文書を撤回するべきだ。吉村洋文知事は6日、目標額にほど遠い状況をここ入れしようと

そこに加えて、寄付・ボランティア騒動が起きた。日本シリーズは59年ぶりの関西勢対決で盛り上がりながらだ。吉村氏は「両球団の優勝といふ歴史的な快挙をお祝いしたい」と語ったが、ならば軌道修正を急ぐべきだ。

とし、手当や交通費を支給するべきだ。現に兵庫県と神戸市は公務としている。職員を巻き込むトラブルが生じた場合、ボランティアでは補償の対象にならない恐れもある。パレードの資金集めでは、タイトルに「2025年大阪・関西万博500日前!」との文言を入れ、万博を前面に押し出した。開催への機運が盛り上がり、様々なトラブルばかりが話題になる現状を開拓したいのだろうが、これにも「便乗だ」「野球が政治利用されて合無し」といった批判が相次いでいる。

そこに加えて、寄付・ボランティア騒動が起きた。日本シリーズは59年ぶりの関西勢対決で盛り上がりながらだ。吉村氏は「両球団の優勝といふ歴史的な快挙をお祝いしたい」と語ったが、ならば軌道修正を急ぐべきだ。